日本化薬株式会社
整理番号：　21466
作成年月日：1997年 9月22日
改訂年月日：2011年11月30日

製品安全データシート

1　製品名及び会社情報

製品名：	シクロパック粒剤
会社名：	日本化薬株式会社
住所：	東京都千代田区富士見一丁目１１－２
担当部門：	アグロ事業部
電話番号：	03-3237-5219
FAX 番号：	03-3237-5089
緊急連絡先	平日昼間　アグロ事業部(電話番号　03-3237-5219)
	休日・夜間　鹿島工場(電話番号　0479-46-2753)
メールアドレス：	agro.info@nipponkayaku.co.jp
用途及び使用上の制限：	農薬(殺虫剤)

2　危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

健康に対する有害性：	急性毒性(経口)	区分５
	急性毒性(経皮)	区分外
	急性毒性(吸入：粉塵、ミスト)	区分外
	皮膚腐食性／刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分外
	皮膚感作性	区分外
	変異原性	区分外
	発がん性	区分外
	生殖毒性	区分外
	特定標的臓器／全身毒性(単回暴露)	区分外
	特定標的臓器／全身毒性(反復暴露)	区分外
環境に対する毒性：	水生環境有害性(急性)	区分２
	水生環境有害性(慢性)	区分２

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

ＧＨＳラベル要素

絵表示：



注意喚起語：　警告

危険有害性情報：　飲み込むと有害のおそれ
水生生物に毒性
長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書き：

［安全対策］　必要な時以外は、環境への放出を避けること。

［応急措置］　漏出物を回収すること。

飲み込んだ場合：　気分が悪い時は、医師に連絡すること。

漏出した場合：　漏出物を回収すること。

［保管］　直射日光を避け、乾燥した涼しいところに置くこと。

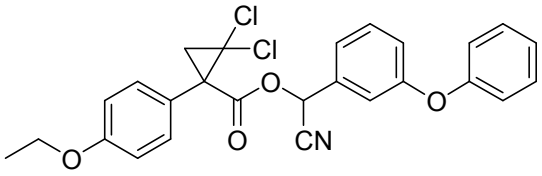
［廃棄］　内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理すること。

3　組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：　混合物(農薬製剤)

化学名(ｼｸﾛﾌﾟﾛﾄﾘﾝ)：　(*RS*)-α-シアノ-3-フェノキシベンジル=(*RS*)-2,2-ジクロロ-1-(4-エトキシフェニル)シクロプロパンカルボキシラート

化学式又は構造式：　$C_{26}H_{21}Cl_2NO_4$（分子量 482.36）



成分及び含有量：

成分	含有量(%)	CAS番号	官報公示整理番号	
			化審法	安衛法
シクロプロトリン	5	63935-38-6	3-3983	7-(3)-249
その他	95	営業秘密につき非公開		

危険有害成分：　特に知られていない

4　応急処置

飲み込んだ場合：　吐かないで、直ちに医師の手当てを受ける。

吸入した場合：　新鮮な空気の場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息する。
直ちに医師の処置を受ける。

多量の水、温水またはうがい薬を用いてうがいをし、医師の手当てを受ける。

皮膚についた場合：　汚染された衣類を脱ぎ、多量の水及び石鹸で接触部位をよく洗い落とす。

眼に入った場合：　清浄な水で 15 分以上注意深く洗眼する。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続ける。

応急処置をする者の保護：　救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

医師に対する注意事項：　特別な情報はない。
症候に基づく標準的な対応をする。

5　火災時の処置

消火剤：　霧状水・泡消火剤・粉末ドライケミカル・炭酸ガス(適宜、状況に応じて使用する)。

使ってはならない消火剤：　棒状水は火災を拡大させるおそれがあるので、用いてはならない。

火災時の特定危険有害性：　火災によっては刺激性、腐食性又は毒性のガスを発生するおそれがある。

特定の消火方法：　速やかに容器を安全な場所に移す。
移動不可能な場合は、周辺または容器に散水し、冷却する。
消火のための放水等により、環境に影響を及ぼさないよう、適切な措置を行う。

消火を行う者の保護　消火作業の際は、可能な限り風上から行い、適切な保護具(呼吸保護具、化学用保護衣等)を着用する。

6　漏洩時の処置

人体に対する注意事項：　漏洩した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。
処理時には適切な保護具を着用し、吸入したり、手足、顔などに付着しないようにする。

環境に対する注意事項：　漏出(飛散)した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

除去方法：　少量の場合　掃き集め、密閉容器に回収する。
大量の場合　粉塵が飛散しないように注意しながら､出来るだけ掃き集め密閉容器に回収する。

7　取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：　取扱場所には、関係者以外の立ち入りを禁止する。
取り扱いは換気のよいところで行う。
保護衣、保護眼鏡、保護手袋など、適切な保護具を着用し、皮膚、粘膜または着衣に触れたり、目に入らないようにする。
休憩場所には、手洗い、洗眼などの設備を設け、取り扱い後には手などをよく洗う。
指定された場所以外では、飲食、喫煙をしないこと。

保管

適切な保管条件：　直射日光を避け、乾燥した涼しいところに置くこと。
使用時以外は容器を密閉する。

安全な容器包装材料：　基本的には製品容器を使用する。

8　暴露防止及び保護処置

管理濃度：　設定されていない。

許容濃度

日本産業衛生学会勧告：　設定されていない

ACGIH 勧告：　設定されていない

設備対策：　局所排気装置の設置または全体換気を適切に行う。
取扱場所の近くに洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。

保護具

呼吸器用の保護具：　有機溶剤用防毒マスク

手の保護具：　保護手袋

目の保護具：　保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具：　保護服、保護長靴、保護前掛け、長袖作業着

9　物理的及び化学的性質

物理的状態

形状：　細粒

色：　類白色

臭い：　無臭

ｐＨ：　該当しない

物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲

沸点：　データなし

融点：　データなし
引火点：　データなし
爆発特性：　データなし
密度：　データなし
溶解性：　シクロプロトリンそのものは有機溶媒に易溶
製剤としては溶解しない
水に易溶
オクタノール/水分配係数：Log Pow = 4.19（シクロプロトリン）

１０　安定性及び反応性

安定性：　通常の取り扱い条件においては安定である。
反応性：　アルカリ性での分解は、酸性でのそれよりも速いと推定される。
避けるべき条件：　酸、アルカリとの接触を避ける。
危険有害な分解生成物：　特に知られていない。

１１　有害性情報

急性毒性：経口　ラット LD_{50}　雄，3933 mg/kg；雌，3466 mg/kg
本製品の単回経口投与試験の結果より、区分５とした。

経皮　ラット LD_{50}　雌雄，＞2000 mg/kg
本製品 2000 mg/kg 経皮投与による死亡例がなく、毒性の臨床所見も認められなかったことから、ヒトの健康に対して急性的な影響が示唆されないため、区分外とした。

吸入　ｼｸﾛﾌﾟﾛﾄﾘﾝ原体　ラット LC_{50} 雌雄，＞1.5 mg/L　（区分４）
（最高発生濃度、4 時間暴露）
上記以外の成分について利用可能な吸入暴露データがない。未 知成分補正の加算式より ATEmix 値を求めると区分４に該当するが、本製品の物理的性状より吸入暴露の実態がないことから、区分外とした。

皮膚腐食性・刺激性：　ウサギを用いた皮膚刺激性試験において、分類基準を満たす刺激性変化が認められなかったため、区分外とした。
眼の重篤な損傷・刺激性：　ウサギを用いた眼刺激性試験において、分類基準を満たす刺激性変化が認められなかったため、区分外とした。
呼吸器感作性：　いずれの成分についても呼吸器感作性に関する情報がないため、分類できない。
皮膚感作性：　モルモットを用いた皮膚感作性試験(GPM法)において、皮内投与量

3%で、皮膚反応が認められなかったため、区分外とした。

変異原性：ｼｸﾛﾌﾟﾛﾄﾘﾝ原体　復帰変異、染色体異常及び小核誘発性、陰性　（区分外）
製品中の対象成分が区分外であるため、区分外とした。

発がん性：ｼｸﾛﾌﾟﾛﾄﾘﾝ原体　陰性(ラット、マウス)　（区分外）
製品中の対象成分が区分外であるため、区分外とした。

生殖毒性：ｼｸﾛﾌﾟﾛﾄﾘﾝ原体　催奇形性 陰性(ﾗｯﾄ、ｳｻｷﾞ)、繁殖 影響なし(ﾗｯﾄ)　（区分外）
製品中の対象成分が区分外であるため、区分外とした。

特定標的臓器毒性(単回暴露)：
本製品のラットに対する単回投与試験において、ガイダンス値の範囲内の投与量では、本製品の暴露に起因する明確な所見が認められなかったため、区分外とした。

特定標的臓器毒性(反復暴露)：
シクロプロトリン及び1.0%以上含まれる成分について、特定標的臓器毒性(反復暴露)が区分外であり、その他の成分は各区分のカットオフ値を超えて含まれないことから、区分外とした。

吸引性呼吸器有害性：　いずれの成分についても吸引性呼吸器有害性に関する情報がないため、分類できない。

１２　環境影響情報

生態毒性(水生生物)：

コイ	急性LC_{50}	707 mg/L(96時間)
オオミジンコ	急性遊泳阻害EC_{50}	2.78 mg/L(48時間)
緑藻	生長阻害E_rC_{50}	529 mg/L(72時間)

水生環境急性有害性：　甲殻類に対する急性影響に基づき、区分２とした。

残留性/有害性：　急速分解性/易分解性に関する情報なし

生物濃縮性：　BCF実測値、800～1200倍
Log Pow ＝ 4.19（シクロプロトリン）

水生環境慢性有害性：　本製品の急性区分が２であり、主成分の急速分解性に関する情報がなく、またBCF≧500であるため、区分２とした。

１３　廃棄上の注意

残余廃棄物：　廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理すること。
下水道、いかなる水域、土地にも投棄してはならない。

汚染容器、包装：　容器・包装等を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専

門の廃棄物処理業者に委託処理すること。
使用した器具を洗浄する際、環境や水の汚染を避けること。
空容器を再利用してはならない。

１４　輸送上の注意

国際規制	陸上輸送：	非該当
	海上輸送：	非該当
	航空輸送：	非該当
国連分類：		非該当
国連番号：		非該当
品名(国連輸送名)：		非該当
国内規制	陸上輸送：	非該当
	海上輸送：	非該当
	航空輸送：	非該当
特定の安全対策及び条件：		容器が破損しないように、混載するときは注意すること。 取り扱い及び保管上の注意事項に留意する。

１５　適用法令

農薬取締法：　適用(農林水産省登録　第１８７９２号)

１６　その他の情報

記載内容の問合せ先：	アグロ事業部 ０３－３２３７－５２１９
改訂の記録：	作成　2011年11月30日
引用文献：	国際連合　化学品の分類および表示に関する世界調和システム(ＧＨＳ)(改訂３版) 社内データ 農薬抄録　シクロプロトリン

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、含有量、物理的化学的性質、危険・有害性等のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。すべての化学製品には未知の有害性があり得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願い申し上げます。また、記載事項は通常の取り扱いを対象にしたものですので、特別な取り扱いをする場合には、新たに用途、用法に適した安全対策を実施のうえ、お取り扱い願います。